

奈良女子大学古代学学術研究センター
平成 28 年度 第 2 回月例研究会

大和条里の地割に関する GIS 的検討の試み

宮崎良美 (古代学術研究センター協力研究員)

日時：2016 年 6 月 22 日 (水) 16:30~18:00

場所：生活環境学部会議室 (生環系 A 棟 1 階)

奈良盆地は古代において宮都を擁し、長岡京遷都後も興福寺などの大寺院の膝下荘園が経営され、多数の土地関連資料が残されている。国内でも典型的な条里地割がみられ、日本の土地制度史や開発史を考える上で重要な地域である。条里呼称については成立やその後の展開などの解明が進みつつあるが、条里地割の施工に関しては直接的に示す史料が残されていないため、施工時期・単位や主体などよくわかっていないことが多い。

先行条里や埋没条里に関して考古学的調査や歴史学からの検討が進められているのに対して、本報告では、現地表面に残る条里遺構について、『大和国条里復原図』をもとに地域性などを改めて検討し、施工の展開に関わる手がかりが得られないか試みる。

ご自由にご参加ください

問合せ先：奈良女子大学古代学学術研究センター
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学コラボレーションセンター205号室
Phone & FAX. 0742-20-3779